

草加市立歴史民俗資料館

れきみんだより vol.16



歴史民俗資料館の情報発信

歴史民俗資料館では、情報発信に力を注いでいます。かつては情報発信といえば、チラシ配布や広報「そうか」及び市ホームページの活用が代表的でしたが、近年はフェイスブックやインスタグラム、ツイッターなどのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）が主流になりつつあります。草加市役所も、各課室や施設ごとにSNSを活用して情報を発信しており、当館でもフェイスブックでイベント情報などを積極的に発信しています。SNSは、単に友人や知人と交流するだけでなく、新鮮な情報を得るために欠かせない手段として浸透しているといえるでしょう。

しかしながら、全ての方がSNSを使用してい

るわけではありません。従来の紙に印刷された広報紙などで情報を得る方も多くおられます。

当館でもフェイスブックの運用のほか、広報紙「れきみんだより」や小冊子「れきみんブックレット」といった印刷物の情報発信に力を注いでいます。手元に置いて長く読んでいただくという点では、印刷物による情報発信も欠かせない手段といえます。

情報発信の方法は日々変化し続けています。世代を問わず、広く情報を発信するためにも、様々な方法を駆使して対応していくことが求められているものと思っています。



今回紹介する資料は、昭和63年(1988)に開催した「奥の細道国際シンポジウム」の講演録です。

「奥の細道国際シンポジウム」は、市制施行30周年記念事業の一つとして、国内外の日本文学研究者を招いて「外国から見た「奥の細道」と日本」をテーマに開催されました。

シンポジウムは基調講演と討論会の2部から構成され、基調講演は『おくのほそ道』研究の第一人者として知られたドナルド・キーン氏が務め、討論会は尾形 侑氏がコーディネーター、陳力衛氏・ラファエル・ベアーマン氏がパネリストを務めました。講演録には、基調講演「奥の細道の世界」と討論会「外国から見た「奥の細道」と日本」が収録され、わが国の代表的な古典文学『おくのほそ道』を国際的な視点から論じたシンポジウムの成果が一冊にまとめられています。

講演録には、今井宏市長(当時)の主催者挨拶として、本シンポジウムの開催に対する思いが次のように記されています。

(前略) 日本の三大古典の一つであり、世界中で関心の高い『奥の細道』に「草加」の二文字が記されていることには、私たち草加人にとって大きな誇りであり、だからこそまちづくりの根幹に芭蕉を据えて、さまざまな施策を展開する必要性を感じております。本日のシンポジウムが市民文化創造の大きなエネル

ギーとなりますことを期待いたしますとともに、今でこそ草加といえば煎餅と松原ということでございますが、同様に、今後は芭蕉、『奥の細道』といわれるような情報発信基地になればと思っているところでございます。(後略)

今井市長が企図したとおり、奥の細道国際シンポジウムは、草加市が推進する文化事業の方向性を決定づける大きなエネルギーとなりました。高い評価を得たシンポジウムは、その後も第4回まで開催され(第3・4回は「奥の細道シンポジウム」として開催)、平成4年(1992)に「奥の細道文学賞」が創設されると、同賞の表彰式に合わせて講演会として開催されるようになりました。

現在、「奥の細道文学賞」の開催も10回を数え、平成24年(2012)にはドナルド・キーン氏の名前を冠したドナルド・キーン賞を創設するなど、更なる変化をみせています。これらの取組を積み重ねてきたことが、草加市が『おくのほそ道』ゆかりの地として広く知られることにつながり、ひいては草加松原が国の名勝「おくのほそ道の風景地」の一つに指定される一因となったのではないのでしょうか。

講演録は、今なお続く『おくのほそ道』をいかした文化事業の出発点を私たちに示してくれる、貴重な資料です。

◆れきみん歳時記（令和4年10月～令和5年1月）◆

歴史民俗資料館で開催した講座やイベントなどの取組を紹介します

10月 教育の歴史を振り返る



秋季企画展「草加の子どもと学校 - 寺子屋からのあゆみ -」を開催しました。学制公布150年を記念した企画展では、明治時代から昭和20年(1945)までの草加地域における教育史を紹介しました。

12月 クリスマスの調べ♪



毎月開催しているれきみん蓄音機コンサート。12月はクリスマスに因んだSPレコードを用意して、ささやかなクリスマスコンサートを開催しました。馴染みのある名曲から初めて聴く曲まで。みなさん華やかな音色を楽しんでいました。

11月 桃の節句展に向けて！



つるし飾り制作講習会を開催しました。参加者が制作したつるし飾りは、2月から3月にかけて開催している冬季企画展「桃の節句展」で展示しています。始めは苦心していた方も、講習会の最後にはテキパキと作っていました。

1月 社会科見学の新しい主役



社会科見学の小学生にとって、昔の道具は魅力的なデザインをしています。今年から紹介している手回し洗濯機は、洗濯機とは思えないデザインが興味深いようで、実際にレバーを手で回して体験する子どもたちが大勢いました。

◆企画展の次回予告

タイトル：端午の節句展

開催期間：令和5年4月18日（火）～5月31日（水）

5月5日の端午の節句にちなみ、館蔵の鎧・兜や武者人形を展示します。また、市民の方々が製作された端午の節句バージョンのつるし飾りも、会場を彩ります。

期間中は、館庭に「鯉のぼり」を揚げます。鯉は「滝登り」や「登龍門」の故事から立身出世の象徴ともいわれ、端午の節句では大変好まれた題材でした。



昨年度の展示風景

◆れきみんブックレット配布しています

資料館では、草加の歴史・文化を多くの方に分かりやすく紹介するため、れきみんブックレットを発行しています。

最新号『草加松原のはなし』では、江戸時代から現代に至る草加松原の歴史に加え、草加松原内に設置されたモニュメントを紹介しています。

窓口で無料配布しています。ぜひ、ご覧ください。



草加市立歴史民俗資料館

facebook やってます！

皆さんに草加市の歴史や文化、資料館の活動を伝えたくて公式フェイスブックページを開設しています。様々な情報を発信していますので、ぜひ、ご覧ください！

いいね！

草加市立歴史民俗資料館 🔍

市公式ホームページ内のSNSページ、または右の二次元コードからアクセスできます



【開館時間】 午前9時から午後4時30分まで

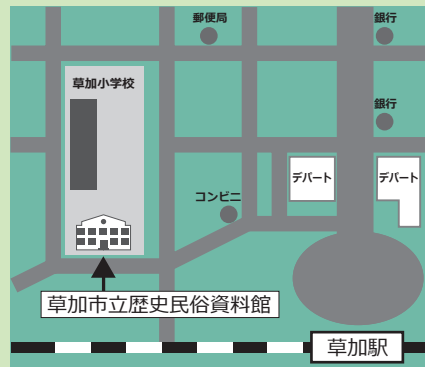
【休館日】 毎週月曜日（祝日または振替休日の場合は翌平日）
年末年始

【入館料】 無料

【住所】 〒340-0014 埼玉県草加市住吉一丁目11番29号

【問合せ先】 電話 048(922)0402 ファクス 048(922)1117

E-mail sokarekimin@city.soka.saitama.jp



東武スカイツリーライン「草加駅」下車東口徒歩7分
駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

れきみんだより vol.16

発行日：令和5年（2023）3月20日 編集・発行：草加市立歴史民俗資料館